

岡敬之 MD, PhD

東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター特任准教授



ご略歴

1995年東京大学整形外科入局、一般整形外科診療の研鑽を積み、2005年より東京大学医学部附属病院22世紀医療センターに勤務。臨床研究に従事し、厚生労働省で利用される運動器疾患の基礎疫学データを確立した。情報処理の国家資格を有し、独自にプログラミングした画像解析ソフトウェアは医療機器番号取得、臨床試験において全国の病院に導入された。多数の論文業績（英文原著論文174報：査読あり）と研究費の獲得歴を持つ

最近の研究費獲得（主任研究者として）

2019-2021年 厚生労働科学研究費「自治体におけるロコモティブシンドローム対策の体制整備：臨床情報・筋肉超音波の人工知能評価を用いた効果的な予防・介入方法の実証」

2020-2022年 厚生労働科学研究費「労働災害防止を目的とした高年齢労働者の身体機能を簡易に測定するためのプログラム開発と実装検証」

2021-2022年 日本運動器科学会学術プロジェクト「在宅での利用を視野に入れた身体的フレイルに関するAI評価システムの開発」

受賞 (Author / Corresponding)

2005年	日本骨粗鬆症学会 研究奨励賞
2007年	日本骨粗鬆症学会 優秀演題賞
2007年	IOF-ANZBMS, Young Investigator Award
2008年	日本骨代謝学会 研究奨励賞
2009年	日本骨粗鬆症学会 森井賞
2010年	Microsoft innovation award 最優秀賞
2016年	東京大学整形外科 奨学会賞